

# 第 42 回海外投融資委員会議事要旨

## 1. 日時

2016 年 7 月 27 日(水)15:30～17:30

## 2. 場所

国際協力機構本部 6 階役員会議室

## 3. 出席者

(海外投融資委員会委員)

小川委員長、長島副委員長、荒木委員、川口委員、柴田委員、千賀委員

## 4. 議事・報告

1. (審議事項)モンゴル国「ツェツィ風力発電事業」審査後審議
2. (審議事項)タンザニア国「オフグリッド太陽光事業」審査後審議
3. (報告事項)「海外投融資既往案件モニタリング・海投管理会計報告」

## 5. 議事の要旨

1. (審議事項)モンゴル国「ツェツィ風力発電事業」審査後審議

事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。

1. 上記事業は、モンゴル南部において風力発電所の建設・運営を行う事により、モンゴルにおける電力需給逼迫の緩和及び再生可能エネルギーの利用促進を図り、モンゴルの持続可能な経済発展及び気候変動の緩和が期待される重要な事業である。モンゴルの経済情勢等により再生可能エネルギー分野への民間金融機関の融資が進まない中で、モンゴルの風力発電事業での融資実績を有する EBRD と協調融資する形で JICA が本事業に融資することにより、モンゴルにおける再生可能エネルギー事業の推進に寄与するため、機構が支援する意義が認められるところ、海外投融資による支援を実施することは妥当と考える。
2. モンゴルでは 昨今経済情勢が悪化していることを踏まえ、今後のモンゴル経済情勢が本事業に与える影響に留意し、モニタリングしていくことが必要。
3. 2016 年 6 月の選挙により新政権が誕生したが、今後の政権運営において電力政策の動向、本事業に与える影響についてモニタリングしていくことが必要。

2. (審議事項)タンザニア国「オフグリッド太陽光事業」審査後審議

事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。

1. 本事業は、サブサハラ・アフリカ地域において、未電化地域のキオスクに太陽光パネルを設置し、キオスクに来店するユーザー(BOP層)に対して電力の小売りを行うことにより、未電化地域における照明や、送金手段等に活用されている携帯電話の利用促進を図り、もって生活水準の向上が期待される重要な事業であ

る。温室効果ガスを排出し、健康被害をもたらす灯油ランプを、より安価で安全なLEDランタンに置き換えることにより、小売店の夜間営業や、子供の夜間勉強を可能にするなど、BOP層の生活水準向上の観点から高い開発効果が見込まれ、機構が支援する意義が認められるところ、海外投融資による支援を実施することは妥当と考える。

2. 事業実施上のリスクを適切にコントロールするため、出資後の木目細かいモニタリングが重要である。事業拡大に伴うセキュリティ面の配慮には特に留意すること。
3. 本事業からの退出については、将来時点の状況を踏まえ、適切なタイミングを検討すること。

3. (報告事項)「海外投融資既往案件モニタリング・海投管理会計報告」

海外投融資既往案件モニタリング及び海投管理会計につき事務局より報告を行った。

以 上